七滝中央小学校で大運動会

９月29日､七滝中央小学校（大竹紳一郎校長･78人）のみどりの芝生のグラウンドで大運動会が開催されました。今年のスローガンは「全校児童が一つになり笑顔で楽しむ運動会」。伝統芸能では、児童たちが寅舞や太鼓を披露するなど会場を盛り上げ、競技には、地域の老人会や地元消防団など多くの人たちも参加し、地域一体となった運動会となりました。

1_伝えよう！校区の伝統芸能１（3,5年）
2_赤白全員リレー（全児童）　3_わが家のお宝さがし（1,2年）　4.6_Hope for the future～わたしたちの未来～　5_パプリカ（1,2年）
7_対決！！親子リレー（6年・保護者）

認知症サポーター広がり続ける"応援の輪"

町内の小学校で、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を養成する講座が行われました。平成20年度から一部の小学校で認知症サポーター養成講座が始まり、児童たちは、絵本などを使って分かりやすく、認知症について理解を深めました。受講した児童は、「認知症についてもっと勉強して、これからは手助けやお手伝いをしたい」と話しました。今年度も全ての小学校・中学校で認知症サポーター養成講座を実施する予定です。

▲滝尾小学校５年生の認知症サポーター

▲小坂小学校６年生の認知症サポーター

▲高木小学校６年生の認知症サポーター

おじいちゃんおばあちゃんにたくさん教えてもらいました

高木小でふれあい交流会

９月21日、高木小学校（福田雅也校長・118人）で高木校区の老人会など一緒に昔遊びで楽しむ「ふれあい交流会」が開催されました。毎年恒例の交流会では、学年ごとに分かれ、あやとりやおはじき、けん玉、グラウンドでは、竹馬や水鉄砲、竹とんぼなどを実施。児童たちは、おじいちゃんおばあちゃんならではの知恵や技術を教えてもらい、笑顔で挑戦していました。交流会後は、６年生が作った蒸しパンを一緒に食べながら地域の方々とのつながりを深めました。

水越神社大祭

９月22日、地域の五穀豊穣と子孫繁栄を願った江戸時代から続くと伝えられている水越神社大祭が水越神社で行われました。今年は､水越の田畑地区が主催。午前中に神事が執り行われたあと、奉納相撲が行われました。東西に分かれ、構える子どもたちは、行司の掛け声で体をぶつけ合い、技を掛け合いました。初めて参加した神戸想真くんは「相撲をとることがほとんどないので、いい経験になりました。地域の行事にこれからも参加したい」と笑顔で話しました。

はっけよい、のこった！

奉納太鼓を披露する七滝中央小学校の児童たち

４年ぶり！平蔵祭り復活！

９月25日、上野の古閑の原天満宮で「秋季大祭～平蔵祭り」が開催されました。熊本地震で農業用水路が被災し、祭りも中止していましたが、水路の復旧が進んでいることから地域から声が上がり、４年ぶりに復活。午前中は、七滝土地改良区（野田貴久理事長）が主催で神事を執り行い、午後からは、西上野地区（藤本繁美会長）主催で、七滝中央小学校の児童による太鼓や相撲、古閑迫寅舞保存会による寅舞などが披露されました。七滝土地改良区の野田理事長は｢田植えができるようになって、人も地域も明るくなった。これからも先人たちの偉業を讃え、祭りを続けていきたい」と話しました。

住みやすい“まち”を目指して

９月27日、御船高校（栗谷雅之校長）の１年生を対象としたまちづくりへの取組みについて、講話が行われました。総合的な“探究”の時間の講師は、町内の飲食店経営者や町役場職員などさまざまな立場でまちづくりを行う６人。商工会青年部の永本達也部長は、子どもたちにさまざまな職業体験ができるJOJOKIDSの活動について話しました。また、働く喜びや楽しみ、御船町の素晴らしさについての講師の語りに生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

生徒たちに御船町への思いを伝える講師たち